

「白瀬轟・南極フォーラム」(仮称) について

白瀬南極探検隊記念館

1. 目的

南極観測に関わる産学官の連携強化を図るとともに、白瀬南極探検隊の功績を広く知らしめることを目的とする。

2. 内容

- 1) 白瀬轟に関する顕彰事業及び調査研究の情報交換
- 2) 南極観測事業の成果及び調査研究に関する情報交換
- 3) 南極に関わる探検(冒険)・産業・文化活動に関する情報交換
- 4) 関係者の交流及び連携強化につながる事業

3. 参集範囲

- 1) 極地研究に関わる地方自治体
- 2) 国立極地研究所、大学等の研究機関
- 3) 白瀬南極探検隊の顕彰・顕彰に関わる個人、団体
- 4) 南極観測に関わる企業、団体
- 5) 南極に関わる活動を行っている個人、団体
- 6) 白瀬轟、南極に関心のある個人

4. 「第1回白瀬轟・南極フォーラム」の概要(検討案)

期日：2021(平成33)年9月上旬 ※既存の「白瀬・南極フェア」の拡大開催を検討

会場：にかほ市内・秋田県内の施設

日程：(1日目) 開会行事 - 記念講演・フォーラム - 交流会

(2日目) 関連施設見学会・市民との交流イベント - 閉会行事

※実施に当たっては実行委員会に詳細を委ねる。

5. 事業実施後の展望

第1回フォーラムにおいて関係自治体・団体等の構成を確固なものとし、2回目以降は構成する自治体等が持ち回りで事業を実施する。持ち回り実施により、新たな研究成果及び資料の発掘や情報共有の多角化を望むことが可能となる。

永続的な事業実施及び円滑な組織運営を図るため、事業主体となる実行委員会のハブ(中枢)として国立極地研究所との連携が肝要となる。

6. 事業実施までのタイムテーブル

年度	事業内容	付記
2018	・国立極地研究所との包括連携協定締結（現在協議中）	第9次隊南極点到達50周年
2019	・関係自治体・団体等との連絡調整・調査 ・実行委員会設立に向けた協議	
2020	・実行委員会設立・随時開催（実施要項、事業計画、予算案等の決定）	
2021	・第1回フォーラムの開催（会場：にかほ市）	
2022	・第2回フォーラムの開催 （以降、順次開催）	白瀬探検隊南極到達110周年

7. 概算事業費

年度	事業費（千円）	説明
2019	1,000	・調整・調査費 500 千円（旅費：東京3、名古屋、稚内・陸別） ・調査業務委託料 500 千円
2020	1,000	同上
2021	1,000	実行委員会負担金（または補助金） （フォーラム・交流会等開催費用）
2022	1	未定（存置）

「白瀬臺・南極フォーラム」参集範囲のイメージ図

